



図書館 だより

図書館 ☎69♦3706

今月の特集

「子ども読書の日」

2001年12月に子どもの読書活動を推進するため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、4月23日は「子ども読書の日」となりました。この日を記念して、図書館ではボランティアにご協力いただき、毎年「子ども読書の日」おはなし会を開催しています。今年は4月22日(日)に行います。

ほかにも4月は読書に関する日がいろいろあります。2日はアンデルセンの誕生日を記念して「国際子ども本の日」。4月23日～5月12日は「こどもの読書週間」です。また、23日はスペインのカタルーニャ地方の伝説を元に、「サン・ジョルディの日」といって、恋人や親しい人に赤いバラの花や本を贈り合う日です。あなたもこの機会に、大切な人へ花や本を贈ってみてはいかがですか？

昨年の「子ども読書の日」の様子



昨年のおはなし会で読んだ絵本



『イエコさん』

角野 栄子/文 ユリア・ヴォリ/絵
ブロンズ新社
森のそばにイエコさんという古い家がありました。動物たちがやってきて…



『ぼくのおべんとう』

スギヤマ カナヨ/作 アリス館
まずはたまごやき。からあげもあるぞ。楽しいおべんとうの時間です。

親子で本を読もう！



『豊かな心をはぐくむ』

『こども0～7才絵本ガイド』

さわだ さちこ/絵本セレクト
なかじま えりこ/構成・文
主婦の友社/編 主婦の友社
テーマ別に絵本を紹介する。

来月からは本についての質問に答えるよ！



「珍しい魚の展示」

■熱帯魚が「穴」だ！

竹島水族館は大きな水槽もないので、ジンベエザメやマンタなど、誰もが知る人気の魅力魚を飼うことはできません。珍しく、見たこともない生き物を展示して知ってもらおうと、あつた、あつた、あつた。と探していると、あった、あった。「熱帯の川の小金」です。私の担当コーナーです。

物が茂り、下半分に水があつて古代魚やアマゾンの人食いナマズなどの大きな魚が泳いでいることがほとんど。しかし、そんな大きな魚が住む大きな川の支流は小さな流れがたくさんあり、珍魚や美魚の宝庫なのです。大きな水槽が多い最近の水族館では、このジャングルの小型珍魚や美魚は見落とされていた「穴」だったのです。

■珍魚を探せ！

早速、ネットワークを駆使して観賞魚店の店員さんと組んで「熱帯魚展示プロジェクト」を編

学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎68♦2059

成。ワクワクしていたらいきなり問題発生。アマゾンに有するブラジルが、環境破壊などで捕獲や輸出を制限していたのです。アマゾンの環境破壊は凄まじく、生き物の数も減っているのです。残念。それでも、ペルーやコロンビア、アルゼンチンなどの周辺熱帯地域からさまざまな水族が輸入されてきます。輸入生物リストを見て珍種をピックアップしていきます。リストは名前だけで写真は掲載されていません。珍しい種類なので観賞魚図鑑には載っていないものも多く、インターネットや辞書を片手に洋書を見て姿形を調べます。地味でパツとしないものが多いのですが中には「コレは面白い！珍しいし興味を引きそう

だ！」という生き物が見つかりました。この時間は楽しいものです。■水槽に入るまで
珍しい生き物が見つかるたびに予算と相談。珍しいものは貴重価値が高い。貧乏水族館には辛いところ。しかし、そこでモタモタしていると、その間に他の業者やマニアに先取りされてしまいます。時間との勝負。手に入ることが決定すると今度は徹底的にあらゆる方法でその生き物の生態や飼育法を調べ、万全な環境で水槽に迎え入れます。